

フィジーからのご便り



2023-1次隊

古谷優衣 (Furuya Yui)

フィジーで広島の大学生を対象に スタディツアーを開催しました!

少し前の話になりますが、今年の3月、私の母校・広島国際大学の学生たちをフィジーに招いて、スタディツアーを開催しました。ツアーには、広島国際大学の学生のほかに、私のゼミを担当していた准教授、そして他大学からも学生1名が参加してくれました。参加してくれた学生のほとんどが、今回が初めての海外経験。そんなみなさんに、フィジーの観光地だけでなく、実際にこの国で暮らす人たちとの交流を通して「リアルなフィジーの暮らし」や、フィジーならではの文化・価値観を体感してもらうこと。そして、JICA海外協力隊としてさまざまな分野で活動する仲間

たちとの関わりを通じて、視野をぐっと広げてもらうことを目的に、約1週間のプログラムを実施しました。異文化に触れること、価値観の違いを知ること、そして何より、フィジーの人たちとのあたたかいふれあいや、日本での生活ではなかなか出会うことのない、異なる業界で活躍する熱い思いを持った日本人との出会いなど、人とのつながりに焦点を当てた今回のツアー。学生たちにとっても、とても刺激的で学びの多い時間になったようです。

MEMORIES





Suva

Frank Hilton Organizationでコミュニティ巡回同行



ナンボロごみ処理場見学+ラミ役場

JICAスタッフより、フィジーについての説明



フィジーの女性グループのイベント参加

Sigatoka

シンガトカ病院見学



砂丘（自由時間）

Nadi

離島ツアー（自由時間）

スタディーツアーはバトン渡し

今回スタディーツアーを企画したのは、私自身が大学時代に東ティモールでJICA海外協力隊として活動していた先輩のスタディーツアーに参加し、大きな影響を受けた経験があったからです。初めて「途上国」と言われる国を訪れ、現地の人々や協力隊の方々に出会ったあの経験が、今の私をフィジーでの活動へと導いてくれました。

今回のツアーが、参加してくれた学生さんたちにとって、未来の何かの光になることを願っています。そして、もしかすると、彼らと出会ったフィジーの人たちや協力隊員たちにも、何かしらの変化が生まれているのかもしれません。なによりも、私が色々な面で成長させていただきました。スタディーツアーに参加してくれた皆さん、そして今回のツアーの実施にあたり支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

